

ある患者様の言葉で、広報誌に関して視力の悪い方への配慮が欠けていたことに気付かされました。今の時代はネット上の文書を音声変換にて、聴覚で内容を確認しているそうです。まずは、今クリタイムズで取り上げた腎代替療法について文面のみで記載します。

2022年7月第3号

【もう一つの透析、腹膜透析（PD）について】

腹膜透析は透析の装置として、自分の体の腹膜を使う方法です。腹膜は胃や腸などの臓器を覆っている薄い膜です。表面積は体表面積ほどあり、毛細血管が表面に網の目のように分布しています。この膜を透析膜として使用します。お腹の中に管（カテーテル）を通して透析液を入れておくと、血液中の老廃物や不要な尿毒素、電解質などが透析液の中に移送します。また、透析液と血液の浸透圧の差で体の余分な水分を除去します。血液透析のように透析毎に病院に通わずにすみ、針を刺す痛みもありません。血液透析から腹膜透析に変更する方や、腹膜透析を併用し週1回の通院血液透析に変更される方もいらっしゃいます。腹膜透析に興味のある方がいらっしゃいましたら、気軽にスタッフまでお声掛けください。

2023年3月第10号

腎代替療法の「再選択と最適化」

ご存じですか？ 腎代替療法は、「腹膜透析」「血液透析」「腎移植」から選ぶことができます。

腎代替療法は、からだの具合や生活スタイルに合わせて変えていくことができます。

今のあなたにぴったりの治療法、一緒に考えてみませんか？

「血液透析」以外の腎代替療法、ご存じですか？

「腹膜透析」は病院・クリニックではなくご自宅で行うマイルドな透析療法です。

「ハイブリッド透析」は腹膜透析と血液透析を組み合わせた「いいとこ取り」の透析療法です。

「腎移植」は他のひとの腎臓を譲りうけて自分の体内で活用する治療法です。

ライフゴール達成の「必要条件」は変化するものと推測される。そして、腎代替療法の再選択がその「必要条件」に合致するケースは存在し、それを見逃してはならない。

「腎代替療法の再選択と最適化」について説明・情報提供をご希望の方はスタッフまでお気軽にお申し出ください。

以上です。今後、今クリタイムズの文書に関しては可能な限り文面でもHPに貼り付けるようにしたいと思います。